

〔教科〕 【科目】	(国語)【文学国語】	3年	2単位	教科書	標準文学国語 (第一学習社)	副教材等		履修対象・ 使用教室 等	3年アクティブ1, 2組			
教科・ 科目の 目標	「現代の国語」および「言語文化」で育成された資質・能力をさらに推し進め、深く共感したり豊かに想像したりする力や、創造的に考える力を伸ばすために、書いて読みんだりする資質・能力を伸ばすための学びと、我が国の言語文化に対する理解を深める。 (１) 生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技術を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。 (２) 論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他社との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深生にわたる社会生活に必要な国語の知識や技術を生かしながら、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。めざることができるようにする。 (３) 言葉が持つ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。											
評価 の 観点	知識・技能			思考・判断・表現			主体的に学習に取り組む態度					
	国語科における学習の過程を通じた知識及び技能の習得状況。習得した知識・技術を既存の知識及び技術に関連付けたり活用する中で、他の学習や生活の場面でも活用できる程度に概念などを理解したり、技術を習得したりしているか。			国語科の知識及び技能を活用して課題を解決するために必要な思考力、判断力、表現力を身につけているか。			知識・技能及び技能を習得したり、思考力、判断力表現力等を身に付けていたため、自らの学習状況を把握し、学習の進め方について試行錯誤するなど自らの学習を調整しながら、学ぼうとしているかどうかという意識的な側面。					
評価方法	＊単元などの授業内容のまとめごとに「評価の観点」に基づいた観点別評価を行い、「A：「十分満足できる」状況 B：「概ね満足できる」状況 C：「努力を要する」状況」とする。単元など別の観点別											
評価資料・ 評価比重 (100点換算)	評価資料等			予定回数・内容等			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度			
	単元テスト			単元ごとに1回～数回			100	40				
	学習作文			授業ごと				15	25			
	音読・暗唱			単元ごとに数回				15	25			
	発表			単元ごとに数回				15	25			
	ノートづくり			単元ごと				15	25			
	(観点別配分%)			(3観点の比重を%で示しています)								
月進行(計画)	【単元名】 学習項目名	配当時間 (計画)	学習内容・目標（到達点） など				主な評価資料		評価の重み付け〔◎○〕			
							知・技	思・判・表	態度			
4 5	旅する本汚れつちまつた悲しみに……	12	・本の再会を繰り返すたびに実感される「私」の変化を読み取る。 ・「汚れつちまつた悲しみ」とは何か、表現をもとにして考え、詩の内容と韻律を深く味わう。 ・文学的な文章における文体の特徴や表現の技法を理解する。 ・繰り返し音読し、積極的に詩の構成やリズムを理解する。				単元テスト	◎	◎			
							学習作文		◎			
							音読・暗唱		◎			
							発表		◎			
							ノートづくり		◎			
6 7	清兵衛と瓢箪夏の花	16	・場面の移り変わりや登場人物の発言から、清兵衛と大人たちの瓢箪に対する考えの違いを読み取る。 ・「私」の移動とともに場面が変わる文章展開を把握し、各場面における「私」の心情を読み取る。 ・文学的な文章における文体の特徴や表現の技法を理解する。 ・语句の量を増やし、語彙を豊かにする。				単元テスト	◎	◎			
							学習作文		◎			
							音読・暗唱		◎			
							発表		◎			
							ノートづくり		◎			
8 9	山月記卒業	14	・表現の特徴が作品に及ぼす効果を考え、人が虎になるという怪異の意味を踏まえて作品の主題を考える。 ・语句の量を増やし、語彙を豊かにする。 ・仕事に向き合う態度と友人への思いがどのように変化するかを捉え、主人公にとつての「卒業」の意味を考える。				単元テスト	◎	◎			
							学習作文		◎			
							音読・暗唱		◎			
							発表		◎			
							ノートづくり		◎			
10 11	永訣の朝ひよこの眼	13	・詩の中の自然に描かれ方に注目し、「いもうと」「わたし」それぞれの心情を想像しながら味わう。 ・繰り返し音読し、積極的に詩の構成やリズムを理解しようとしている。 ・作品中の表現に注意しながら、「私」が幹生の目が見つめていたものに気づくまでの心情の変化を把握する。				単元テスト	◎	◎			
							学習作文		◎			
							音読・暗唱		◎			
							発表		◎			
							ノートづくり		◎			
12 1												

学習の アドバイス	・単元ごとにテスト、あるいは課題を出します。加えて日々の授業の取組をもって評価します。授業の時間を大切にしてください。 ・学習作文の記述は根気をもって取り組んでください。その日学んだことや感じたことを言葉にすることは大切なことです。習慣化しましょう。	
----------------------	--	--